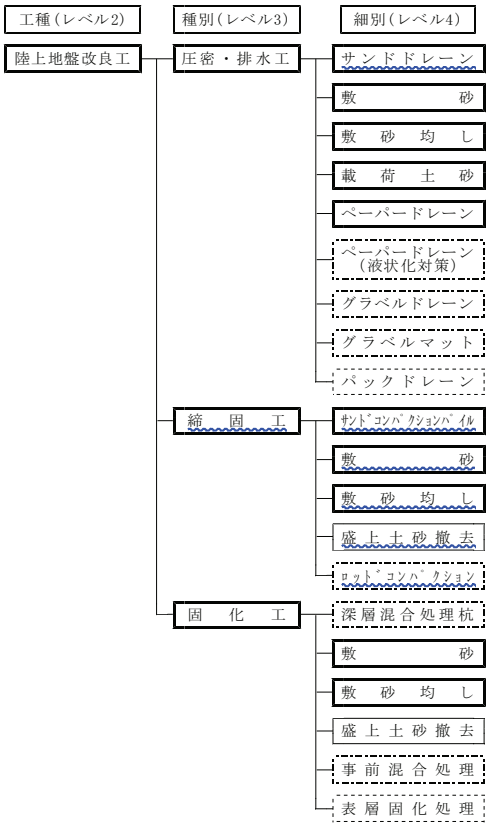
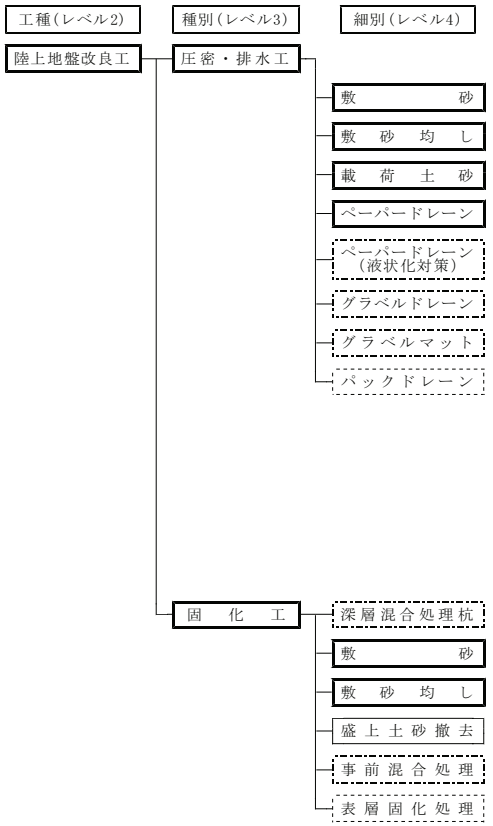
令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

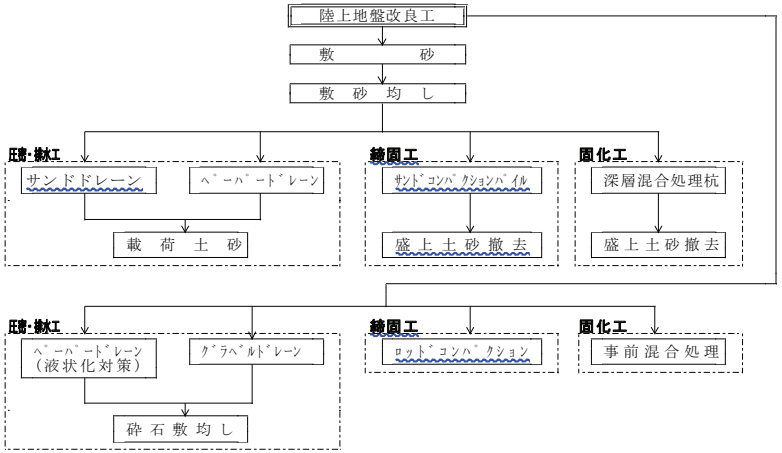
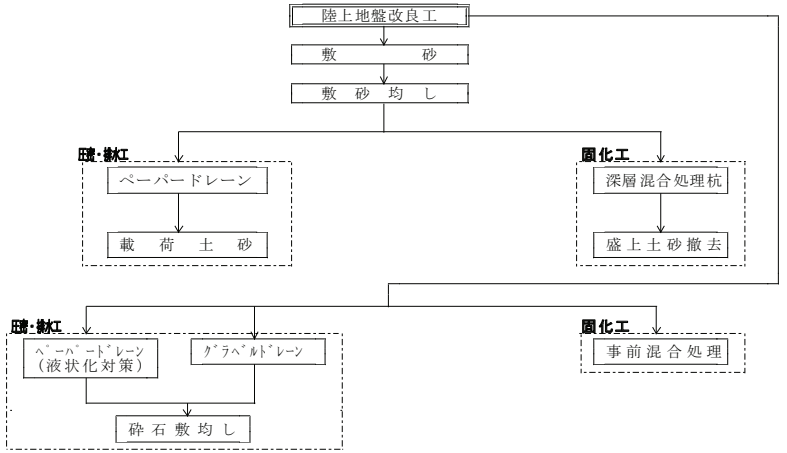
<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr><td>10節　埋立工
P3-10-15</td><td>①排砂管（海底管）設置・撤去　60m当り
<table><tr><th rowspan="2">名　　称</th><th rowspan="2">形　状　寸　法</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="2">船　種　・　規　格　区　分</th><th rowspan="2">摘　　要</th></tr><tr><th>〔１〕</th><th>〔２〕</th></tr><tr><td>揚　錨　船</td><td>鋼D　t吊</td><td>日</td><td colspan="2">0.5</td><td>就業8H</td></tr><tr><td>台　船</td><td>鋼200ｔ積</td><td>〃</td><td colspan="2">0.5</td><td>〃</td></tr><tr><td>潜　水　士　船</td><td>D270PS型　3～5t吊</td><td>〃</td><td colspan="2">0.5</td><td>〃</td></tr><tr><td>引　船</td><td>鋼D250PS型</td><td>〃</td><td colspan="2">0.5</td><td>運2H／就8H</td></tr><tr><td>引　船</td><td>鋼D200PS型</td><td>〃</td><td colspan="2">0.5</td><td>〃</td></tr><tr><td>ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ</td><td>(賃)25ｔ吊</td><td>〃</td><td>0.7</td><td>0.5</td><td>標準運転時間</td></tr><tr><td>空気圧縮機</td><td>5.0m³/min</td><td>〃</td><td colspan="2">0.5</td><td></td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>9.4</td><td>6.5</td><td></td></tr><tr><td>雑　材　料</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr></table></td><td>①排砂管（海底管）設置・撤去　60m当り
<table><tr><th rowspan="2">名　　称</th><th rowspan="2">形　状　寸　法</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="2">船　種　・　規　格　区　分</th><th rowspan="2">摘　　要</th></tr><tr><th>〔１〕</th><th>〔２〕</th></tr><tr><td>揚　錨　船</td><td>鋼D　t吊</td><td>日</td><td colspan="2">0.5</td><td>就業8H</td></tr><tr><td>台　船</td><td>鋼200ｔ積</td><td>〃</td><td colspan="2">0.5</td><td>〃</td></tr><tr><td>潜　水　士　船</td><td>D320PS型　3～5t吊</td><td>〃</td><td colspan="2">0.5</td><td>〃</td></tr><tr><td>引　船</td><td>鋼D250PS型</td><td>〃</td><td colspan="2">0.5</td><td>運2H／就8H</td></tr><tr><td>引　船</td><td>鋼D200PS型</td><td>〃</td><td colspan="2">0.5</td><td>〃</td></tr><tr><td>ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ</td><td>(賃)25ｔ吊</td><td>〃</td><td>0.7</td><td>0.5</td><td>標準運転時間</td></tr><tr><td>空気圧縮機</td><td>5.0m³/min</td><td>〃</td><td colspan="2">0.5</td><td></td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>9.4</td><td>6.5</td><td></td></tr><tr><td>雑　材　料</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr></table></td><td>潜水士船の大型化による基準改定</td></tr>
<tr><td>10節　埋立工
P3-10-16</td><td>③排砂管（陸上受枠上）設置・撤去　60m当り
<table><tr><th rowspan="2">名　　称</th><th rowspan="2">形　状　寸　法</th><th rowspan="2">単　位</th><th colspan="2">船種・規格区分</th><th rowspan="2">摘　　要</th></tr><tr><th>〔１〕</th><th>〔２〕</th></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>(賃)25ｔ吊</td><td>日</td><td>1.1</td><td>1.0</td><td>標準運転時間</td></tr><tr><td>ト　ラ　ッ　ク</td><td>8ｔ積</td><td>〃</td><td colspan="2">0.4</td><td>〃</td></tr><tr><td>普　通　作　業　員</td><td></td><td>人</td><td>7.6</td><td>5.0</td><td></td></tr><tr><td>雑　　材　　料</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr></table></td><td>③排砂管（陸上受枠上）設置・撤去　60m当り
<table><tr><th rowspan="2">名　　称</th><th rowspan="2">形　状　寸　法</th><th rowspan="2">単　位</th><th colspan="2">船種・規格区分</th><th rowspan="2">摘　　要</th></tr><tr><th>〔１〕</th><th>〔２〕</th></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>(賃)25ｔ吊</td><td>日</td><td>1.1</td><td>1.0</td><td>標準運転時間</td></tr><tr><td>ト　ラ　ッ　ク</td><td>8ｔ積級</td><td>〃</td><td colspan="2">0.4</td><td>〃</td></tr><tr><td>普　通　作　業　員</td><td></td><td>人</td><td>7.6</td><td>5.0</td><td></td></tr><tr><td>雑　　材　　料</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr></table></td><td>機械器具等損料改定に伴う変更</td></tr>
</table>

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 目次	**１１節　陸上地盤改良工** **１．総則** １－１　適用範囲 …… 3-11- 1 １－２　積算ツリー …… 3-11- 1 １－３　積算フロー …… 3-11- 2 １－４　標準的な積算手順 …… 3-11- 2 １－５　数量計算等 １－５－１　集計数位 …… 3-11- 3 １－５－２　材料割増率 …… 3-11- 3 １－５－３　数量の算出 …… 3-11- 3 １－５－４　数量計算の非控除 …… 3-11- 4 １－５－５　測線・測点間隔 …… 3-11- 4 **２．圧密・排水工** ２－１　サンドドレーン ２－１－１　適用範囲 …… 3-11- 5 ２－１－２　施工フロー …… 3-11- 5 ２－１－３　代価表作成手順 …… 3-11- 5 ２－１－４　作業機械構成 …… 3-11- 5 ２－１－５　施工歩掛 …… 3-11- 6 ２－２　敷砂 ２－２－１　適用範囲 …… 3-11- 6 ２－２－２　施工フロー …… 3-11- 6 ２－２－３　代価表作成手順 …… 3-11- 6 ２－２－４　施工方式 …… 3-11- 6 ２－２－５　施工歩掛 …… 3-11- 7 ２－３　敷砂均し ２－３－１　適用範囲 …… 3-11- 7 ２－３－２　施工フロー …… 3-11- 7 ２－３－３　代価表作成手順 …… 3-11- 7 ２－３－４　施工方式 …… 3-11- 7 ２－３－５　施工歩掛 …… 3-11- 7 ２－４　載荷土砂 ２－４－１　適用範囲 …… 3-11- 8 ２－４－２　施工フロー …… 3-11- 8 ２－４－３　代価表作成手順 …… 3-11- 8 ２－４－４　載荷土砂投入 ２－４－４－１　施工方式 …… 3-11- 8 ２－４－４－２　施工歩掛 …… 3-11- 8 ２－４－５　載荷土砂均し ２－４－５－１　施工方式 …… 3-11- 8 ２－４－５－２　施工歩掛 …… 3-11- 8 ２－４－６　載荷土砂撤去 …… 3-11- 8 ２－５　ペーパードレーン ２－５－１　適用範囲 …… 3-11- 9 ２－５－２　施工フロー …… 3-11- 9 ２－５－３　代価表作成手順 …… 3-11- 9 ２－５－４　作業機械構成 …… 3-11-10 ２－５－５　施工歩掛 …… 3-11-10 **３．締固工** ３－１　サンドコンパクションパイル ３－１－１　適用範囲 …… 3-11-12 ３－１－２　施工フロー …… 3-11-12 ３－１－３　代価表作成手順 …… 3-11-12 ３－１－４　作業機械構成 …… 3-11-13 ３－１－５　施工歩掛 …… 3-11-13 ３－２　敷　砂 …… 3-11-14 ３－３　敷砂均し …… 3-11-14 ３－４　盛上土砂撤去 …… 3-11-14	**１１節　陸上地盤改良工** **１．総則** １－１　適用範囲 …… 3-11- 1 １－２　積算ツリー …… 3-11- 1 １－３　積算フロー …… 3-11- 2 １－４　標準的な積算手順 …… 3-11- 2 １－５　数量計算等 １－５－１　集計数位 …… 3-11- 3 １－５－２　材料割増率 …… 3-11- 3 １－５－３　数量の算出 …… 3-11- 3 １－５－４　数量計算の非控除 …… 3-11- 4 １－５－５　測線・測点間隔 …… 3-11- 4 **２．圧密・排水工** ２－１　敷砂 ２－１－１　適用範囲 …… 3-11- 5 ２－１－２　施工フロー …… 3-11- 5 ２－１－３　代価表作成手順 …… 3-11- 5 ２－１－４　施工方式 …… 3-11- 5 ２－１－５　施工歩掛 …… 3-11- 5 ２－２　敷砂均し ２－２－１　適用範囲 …… 3-11- 5 ２－２－２　施工フロー …… 3-11- 5 ２－２－３　代価表作成手順 …… 3-11- 5 ２－２－４　施工方式 …… 3-11- 6 ２－２－５　施工歩掛 …… 3-11- 6 ２－３　載荷土砂 ２－３－１　適用範囲 …… 3-11- 6 ２－３－２　施工フロー …… 3-11- 6 ２－３－３　代価表作成手順 …… 3-11- 6 ２－３－４　載荷土砂投入 ２－３－４－１　施工方式 …… 3-11- 6 ２－３－４－２　施工歩掛 …… 3-11- 7 ２－３－５　載荷土砂均し ２－３－５－１　施工方式 …… 3-11- 7 ２－３－５－２　施工歩掛 …… 3-11- 7 ２－３－６　載荷土砂撤去 …… 3-11- 7 ２－４　ペーパードレーン ２－４－１　適用範囲 …… 3-11- 8 ２－４－２　施工フロー …… 3-11- 8 ２－４－３　代価表作成手順 …… 3-11- 9 ２－４－４　作業機械構成 …… 3-11- 9 ２－４－５　施工歩掛 …… 3-11- 9	クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除 項番号の修正

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 目次	4．固化工 4－1　敷　砂 ---- 3-11-14 4－2　敷砂均し ---- 3-11-14 4－3　盛上土砂撤去 ---- 3-11-14 参考資料 参考資料－1　陸上深層混合処理杭 ---- 3-11-(1) 参考資料－2　ペーパードレーン（液状化対策） ---- 3-11-(9) 参考資料－3　グラベルドレーン ---- 3-11-(13) 参考資料－4　ロッドコンパクション ---- 3-11-(19) 参考資料－5　事前混合処理 ---- 3-11-(25) 補足資料 補足資料－1　陸上地盤改良工 ---- 3-11-(33)	3．固化工 3－1　敷　砂 ---- 3-11-11 3－2　敷砂均し ---- 3-11-11 3－3　盛上土砂撤去 ---- 3-11-11 参考資料 参考資料－1　陸上深層混合処理杭 ---- 3-11-(1) 参考資料－2　ペーパードレーン（液状化対策） ---- 3-11-(9) 参考資料－3　グラベルドレーン ---- 3-11-(13)) 参考資料－4　事前混合処理 ---- 3-11-(19))	項番号の修正 クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除
11節 陸上地盤改良工 P3-11-1	1－2　積算ツリー  	1－2　積算ツリー  	クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 P3-11-2	**１－３　積算フロー**  **１－４　標準的な積算手順** **［サンドドレーン］** **２－２、２－３** 敷　砂　の　積　算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表 **２－１** サンドドレーンの積算 → ・砂杭打込 代価表 **２－４** 載 荷 土 砂 の 積 算 載荷土砂撤去は **「１２節　土工」**参照 → ・載荷土砂投入 代価表 ・載荷土砂均し 代価表 ［サンドコンパクションパイル］ **３－２、３－３** 敷　砂　の　積　算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表 **３－１** サンドコンパクションパイルの積算 → ・締固砂杭打込　代価表 盛上土砂撤去の積算 **「１２節　土工」**参照	**１－３　積算フロー**  	クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：11節 陸上地盤改良工 P3-11-3

現行（令和７年度）

１－５　数量計算等
１－５－１　集計数位

種別(レベル3)	細別(レベル4)	内　容	単　位	数　位	摘　要
圧密・排水工	敷　砂	敷　砂　量	m³	１位止を原則とする。	四捨五入
	敷砂均し	均し対象土量	〃		
	サンドドレーン	砂杭本数	本		
	載荷土砂	載荷土砂量	m³		
		均し対象土量	〃		
	ペーパドレーン	ドレーン本数	本		
		アンカー数	個		
締固工	ｻﾝﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝﾊﾟｲﾙ	締固砂杭本数	本		

１－５－２　材料割増率

種別(レベル3)	細別(レベル4)	内　容	割増率（%）	摘　要
圧密・排水工	敷　砂	敷　砂	30	
	サンドドレーン	砂杭用砂	25	
	載荷土砂	載荷土砂量	30	
	ペーパドレーン	ドレーン材	4	
		アンカー	5	
締固工	ｻﾝﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝﾊﾟｲﾙ	締固砂杭用砂	40	

改定（令和８年度）

１－５　数量計算等
１－５－１　集計数位

種別(レベル3)	細別(レベル4)	内　容	単　位	数　位	摘　要
圧密・排水工	敷　砂	敷　砂　量	m³	１位止を原則とする。	四捨五入
	敷砂均し	均し対象土量	〃		
	載荷土砂	載荷土砂量	m³		
		均し対象土量	〃		
	ペーパドレーン	ドレーン本数	本		
		アンカー数	個		

１－５－２　材料割増率

種別(レベル3)	細別(レベル4)	内　容	割増率（%）	摘　要
圧密・排水工	敷　砂	敷　砂	30	
	載荷土砂	載荷土砂量	30	
	ペーパドレーン	ドレーン材	4	
		アンカー	5	

コメント
クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

掲載頁：11節 陸上地盤改良工 P3-11-4

現行（令和７年度）
4）サンドドレーンおよびサンドコンパクションパイル
(1) 砂杭本数および締固砂杭本数
改良区域、造成杭径および改良杭の配置を考慮して算出する。
(2) 砂杭長および締固砂杭長
改良ブロック毎に平均改良杭長を算出する。

5）ペーパードレーン

改定（令和８年度）
4）ペーパードレーン

コメント
クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

項番号の修正

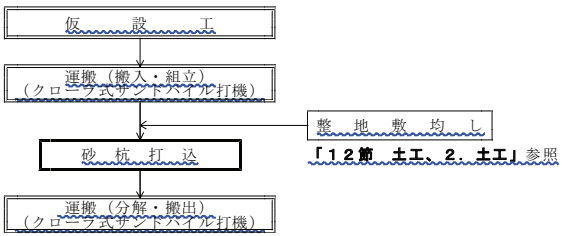
掲載頁：11節 陸上地盤改良工 P3-11-5

現行（令和７年度）
２．圧密・排水工
２－１サンドドレーン
サンドドレーンに含まれる代価表は、下表のとおりである。

種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)	
圧密・排水工	サンドドレーン	砂杭打込	砂杭打込　１本当り

２－１－１　適用範囲
本項は、クローラ式サンドパイル打機による砂杭打込工事に適用する。

２－１－２　施工フロー



「１２節　土工、２．土工」参照

注）本項の歩掛は、［　　］の部分である。

改定（令和８年度）

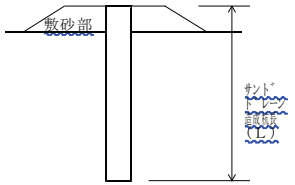
コメント
クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
P3-11-5</td><td>
２－１－３　代価表作成手順
［サンドドレーンの積算］

・砂杭径
・規格・仕様等
・施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算
↓
【第４章　市場単価等】
・施工規模 → 加算率の選定 → ①加算率
↓
・時間的制約を受ける場合
・夜間作業 → 補正係数の選定 → ②補正係数
↓
・砂杭径
・砂杭長
・割増率 → １本当り砂量の算定 → ③１本当り砂量
↓
・打設長
・標準市場単価
①加算率
②補正係数
③１本当り砂量 → 代価表の作成 → ・砂杭打込１本当り代価表

２－１－４　作業機械構成
<table>
<tr><th rowspan="2">区　分</th><th colspan="2">規　格</th><th rowspan="2">摘　要</th></tr>
<tr><th>打込長20m未満</th><th>打込長20m以上</th></tr>
<tr><td>クローラ式サンドパイル打機</td><td>パイプロ式 83kW
リーダ長 30m
35～37ｔ吊</td><td>パイプロ式 108kW
リーダ長 45m
40ｔ吊</td><td></td></tr>
<tr><td>発動発電機</td><td>200kVA</td><td>350kVA</td><td></td></tr>
<tr><td>空気槽</td><td colspan="2">7kg／cm^2 3m^3</td><td></td></tr>
<tr><td>空気圧縮機</td><td>10.5～11m^3／min</td><td>18～19m^3／min</td><td></td></tr>
<tr><td>ホイールローダ</td><td colspan="2">0.8m^3</td><td></td></tr>
</table>
</td><td></td><td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
P3-11-6</td><td>
２－１－５　施工歩掛
１）市場単価の算定

「第４章　市場単価等」による。

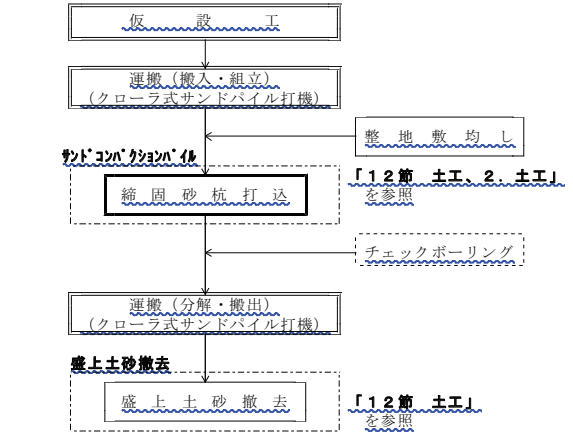
２）サンドドレーン造成杭長（Ｌ）


３）代価表
(1) 砂杭打込　1本当り
<table>
<tr><th>名　称</th><th>形状寸法</th><th>単　位</th><th>数　量</th><th>摘　要</th></tr>
<tr><td>砂</td><td></td><td>m^3</td><td></td><td>割増しを含む</td></tr>
<tr><td>砂杭打込</td><td>施工機械あり</td><td>m</td><td></td><td>市場単価</td></tr>
</table>
</td><td></td><td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td></tr>
</table>

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 P3-11-6	1本当り扱い砂量は、次式により算出する $V = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times L \times \left(1 + \frac{W}{100}\right)$　（小数３位四捨五入） V：1本当り扱い砂量（m³／本） π：円周率（3.14） D：砂杭径（m） L：造成杭長（m） W：割増率（%）		クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除
	２－２　敷　砂 敷砂に含まれる代価表は、下表のとおりである。 種別（レベル3）：圧密・排水工 細別（レベル4）：敷　砂 積算要素（レベル6）：敷砂投入（1,000m³当り）	**２－１　敷　砂** 敷砂に含まれる代価表は、下表のとおりである。 種別（レベル3）：圧密・排水工 細別（レベル4）：敷　砂 積算要素（レベル6）：敷砂投入（1,000m³当）	項番号の修正
	２－２－１　適用範囲 本項は、サンドドレーン等に先だって行う敷砂工事に適用する。	**２－１－１　適用範囲** 本項は、ペーパードレーンに先だって行う敷砂工事に適用する。	サンドドレーン削除に伴う記載の変更
	２－２－２　施工フロー	**２－１－２　施工フロー**	
	２－２－３　代価表作成手順	**２－１－３　代価表作成手順**	
	２－２－４　施工方式	**２－１－４　施工方式**	
11節 陸上地盤改良工 P3-11-7	**２－２－５　施工歩掛**	**２－１－５　施工歩掛**	項番号の修正
	２－３　敷砂均し	**２－２　敷砂均し**	
	２－３－１　適用範囲 本項は、サンドドレーン等に先だって行う敷砂工事に適用する。	**２－２－１　適用範囲** 本項は、ペーパードレーンに先だって行う敷砂工事に適用する。	サンドドレーン削除に伴う記載の変更
	２－３－２　施工フロー	**２－２－２　施工フロー**	
	２－３－３　代価表作成手順	**２－２－３　代価表作成手順**	
	２－３－４　施工方式	**２－２－４　施工方式**	
	２－３－５　施工歩掛	**２－２－５　施工歩掛**	
11節 陸上地盤改良工 P3-11-8	**２－４　載荷土砂**	**２－３　載荷土砂**	項番号の修正
	２－４－１　適用範囲 本項は、サンドドレーンの後に施工される載荷工事に適用する。	**２－３－１　適用範囲** 本項は、ペーパードレーンの後に施工される載荷工事に適用する。	サンドドレーン削除に伴う記載の変更
	２－４－２　施工フロー	**２－３－２　施工フロー**	
	２－４－３　代価表作成手順	**２－３－３　代価表作成手順**	
	２－４－４　載荷土砂投入	**２－３－４　載荷土砂投入**	
	２－４－４－１　施工方式	**２－３－４－１　施工方式**	
	２－４－４－２　施工歩掛	**２－３－４－２　施工歩掛**	
	２－４－５　載荷土砂均し	**２－３－５　載荷土砂均し**	
	２－４－５－１　施工方式	**２－３－５－１　施工方式**	
	２－４－５－２　施工歩掛	**２－３－５－２　施工歩掛**	
	２－４－６　載荷土砂撤去	**２－３－６　載荷土砂撤去**	

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
P3-11-9</td><td>２－５　ペーパードレーン
２－５－１　適用範囲
２－５－２　施工フロー
２－５－３　代価表作成手順</td><td>２－４　ペーパードレーン
２－４－１　適用範囲
２－４－２　施工フロー
２－４－３　代価表作成手順</td><td>項番号の修正</td></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
P3-11-10</td><td>２－５－４　作業機械構成
２－５－５　施工歩掛</td><td>２－４－４　作業機械構成
２－４－５　施工歩掛</td><td>項番号の修正</td></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
P3-11-12</td><td>３．締 固 工
３－１　サンドコンパクションパイル
サンドコンパクションパイルに含まれる代価表は、下表のとおりである。
<table><tr><th>種別(レベル3)</th><th>細別(レベル4)</th><th colspan="2">積算要素(レベル6)</th></tr><tr><td rowspan="2">締　固　工</td><td>ｻﾝﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝﾊﾟｲﾙ</td><td>締固砂杭打込</td><td>締固砂杭打込　　１本当り</td></tr><tr><td>盛 上 土 砂 撤 去</td><td>盛上土砂撤去</td><td>「１２節　土工」参照</td></tr></table>
３－１－１　適用範囲
本項は、クローラ式サンドパイル打機による、締固砂杭工事に適用する。
３－１－２　施工フロー

注）本項の歩掛は、□の部分である。</td><td></td><td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td></tr>
</table>

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
P3-11-12</td><td>
３－１－３　代価表作成手順
［締固砂杭打込の積算］

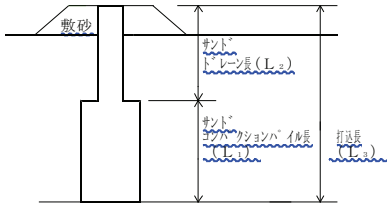
・砂杭径
・規格・仕様等
・施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算
↓
【第４章　市場単価等】
・施工規模 → 加算率の選定 → ①加算率
↓
・時間的制約を受ける場合
・夜間作業 → 補正係数の選定 → ②補正係数
↓
・砂杭径
・砂杭長
・割増率 → １本当り砂量の算定 → ③１本当り砂量
↓
・打設長
・標準市場単価
①加算率
②補正係数
③１本当り砂量 → 代価表の作成 → ・締固砂杭打込１本当り代価表
</td><td></td><td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
P3-11-13</td><td>
３－１－４　作業機械構成

<table>
<tr><th rowspan="2">区　　分</th><th colspan="3">規　　格</th></tr>
<tr><th>打込長20ｍ未満</th><th>打込長20m未満(遮蔽対策)</th><th>打込長20～35ｍ未満</th></tr>
<tr><td>クローラ式サンドパイル打機</td><td>バイブロ式　83kW
リーダ長　30m
35～37 ｔ吊</td><td>バイブロ式　105kW
リーダ長　30m
40ｔ吊</td><td>バイブロ式　108kW
リーダ長　45m</td></tr>
<tr><td>発動発電機</td><td>200kVA</td><td colspan="2">350kVA</td></tr>
<tr><td>空気槽</td><td colspan="3">7kg／cm^2　3m^3</td></tr>
<tr><td>空気圧縮機</td><td colspan="2">10.5～11m^3／min</td><td>18～19m^3／min</td></tr>
<tr><td>ホイールローダ</td><td colspan="2">0.8m^3</td><td>1.2m^3</td></tr>
</table>

３－１－５　施工歩掛
１）市場単価の算定

「第４章　市場単価等」による。
</td><td></td><td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td></tr>
</table>

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
P3-11-13</td><td>2）サンドコンパクションの造成杭長
サンドドレーン併用杭の場合
併用工の場合の規格・仕様は区分毎の杭長（L_1、L_2）で
判断せず、造成する砂杭１本当りの打設長（L_3）を対象とする。


3）代価表
(1) 締固砂杭打込　１本当り
<table><tr><th>名　称</th><th>形状寸法</th><th>単位</th><th>数　量</th><th>摘　要</th></tr><tr><td>砂</td><td></td><td>m^3</td><td></td><td>割増しを含む</td></tr><tr><td rowspan="2">締固砂杭打込</td><td>ｻﾝﾄﾞﾄﾞﾚｰﾝ長</td><td>m</td><td></td><td>市場単価</td></tr><tr><td>ｻﾝﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝﾊﾟｲﾙ長</td><td>m</td><td></td><td>〃</td></tr></table>
１本当り扱い砂量は、次式により算出する
$V=\frac{\pi}{4}\times D_1^2\times L_1\times\left(1+\frac{W_1}{100}\right)+\frac{\pi}{4}\times D_2^2\times L_2\times\left(1+\frac{W_2}{100}\right)$
（小数３位四捨五入）
V　：１本当り扱い砂量（m^3／本）
π　：円周率（3.14）
D_1：サンドコンパクション砂杭径（m）
L_1：サンドコンパクション長（m）
W_1：サンドコンパクション割増率（%）
D_2：サンドドレーン杭径（m）
L_2：サンドドレーン長（m）
W_2：サンドドレーン割増率（%）</td><td></td><td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
P3-11-14</td><td>**３－２　敷　砂**
「本節　２．圧密・排水工　２－２　敷　砂」を適用する。

３－３　敷砂均し
「本節　２．圧密・排水工　２－３　敷砂均し」を適用する。

３－４　盛上土砂撤去
「１２節　土工」を適用する。

４．固 化 工

４－１　敷　砂
「本節　２．圧密・排水工　２－２　敷　砂」を適用する。

４－２　敷砂均し
「本節　２．圧密・排水工　２－３　敷砂均し」を適用する。

４－３　盛上土砂撤去
「１２節　土工」を適用する。</td><td>**３．固 化 工**

３－１　敷　砂
「本節　２．圧密・排水工　２－１　敷　砂」を適用する。

３－２　敷砂均し
「本節　２．圧密・排水工　２－２　敷砂均し」を適用する。

３－３　盛上土砂撤去
「１２節　土工」を適用する。</td><td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

項番号の修正</td></tr>
</table>

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

11節 陸上地盤改良工 参考資料－２ ﾍﾟｰﾊﾟｰﾄﾞﾚｰﾝ(液状化対策) P3-11-(11)

現行（令和７年度）

２－３　作業機械構成

区　分	打　込　長			摘　要
	15m以下	20m以下	25m以下	
ペーパードレーン施工機	機関出力 88kW	125kW	132kW	
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.45m³ (平積0.35m³)			
付属機器	1　式			
施工管理計	1　式			

注）土質、施工条件等により、本表中の規格により難い場合は、別途考慮することができる。

改定（令和８年度）

２－３　作業機械構成

区　分	打　込　長			摘　要
	15m以下	20m以下	25m以下	
ペーパードレーン施工機	機関出力 88kW	125kW	132kW	
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型　0.45m³			
付属機器	1　式			
施工管理計	1　式			

注）土質、施工条件等により、本表中の規格により難い場合は、別途考慮することができる。

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

11節 陸上地盤改良工 参考資料－２ ﾍﾟｰﾊﾟｰﾄﾞﾚｰﾝ(液状化対策) P3-11-(12)

現行（令和７年度）

３）代価表
(1) ペーパードレーン(液状化対策)打込　　１日（　　本）当り

名　称	形状寸法	単位	数　量	摘　要
ドレーン材		m		割増しを含む
ｱﾝｶｰﾌﾟﾚｰﾄ・ｷｬｯﾌﾟ		個		割増しを含む
副資材	ドレーンジョイント	%	1.0	ドレーン材料費の
ペーパードレーン施工機	kW	日	1	標準運転時間
施工管理計		〃	1	
バックホウ	排出ｶﾞｽ対策型 (第2次基準値) ｸﾛｰﾗ型 山積0.45m³ (平積0.35m³)	〃	0.5	
世話役		人	1	
特殊作業員		〃	1	
とび工		〃	1	
普通作業員		〃	1	
雑材料		%	6.0	付属機器含む

注）地盤が軟弱で足場が悪く、機械の移動のために敷板等を必要とするときは、別途計上する。

改定（令和８年度）

３）代価表
(1) ペーパードレーン(液状化対策)打込　　１日（　　本）当り

名　称	形状寸法	単位	数　量	摘　要
ドレーン材		m		割増しを含む
ｱﾝｶｰﾌﾟﾚｰﾄ・ｷｬｯﾌﾟ		個		割増しを含む
副資材	ドレーンジョイント	%	1.0	ドレーン材料費の
ペーパードレーン施工機	kW	日	1	標準運転時間
施工管理計		〃	1	
バックホウ	排出ｶﾞｽ対策型 (第2次基準値) ｸﾛｰﾗ型 0.45m³	〃	0.5	
世話役		人	1	
特殊作業員		〃	1	
とび工		〃	1	
普通作業員		〃	1	
雑材料		%	6.0	付属機器含む

注）地盤が軟弱で足場が悪く、機械の移動のために敷板等を必要とするときは、別途計上する。

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

11節 陸上地盤改良工 参考資料－３ ｸﾗﾍﾞﾙﾄﾞﾚｰﾝ P3-11-(17)

現行（令和７年度）

２）代価表
(1) 砕石杭打込　１日（　　本）当り

名　称	形状寸法	単位	数　量	摘　要
砕石		m³		割増しを含む
ｸﾗﾍﾞﾙﾄﾞﾚｰﾝ施工機	式、　t級	日	1	標準運転時間
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型、　kVA	〃	1	
ホイールローダ	1.2m³	〃	1	標準運転時間
施工管理計		〃	1	
世話役		人	1	
特殊作業員		〃	1	
普通作業員		〃	2	
雑材料		%	2	削孔部保護設備を含む

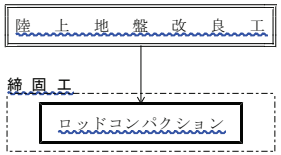
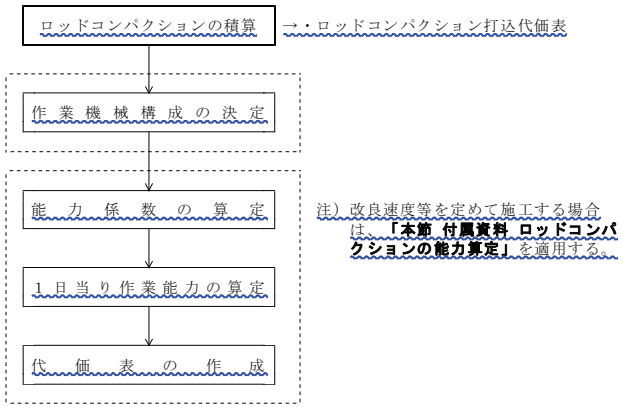
改定（令和８年度）

２）代価表
(1) 砕石杭打込　１日（　　本）当り

名　称	形状寸法	単位	数　量	摘　要
砕石		m³		割増しを含む
ｸﾗﾍﾞﾙﾄﾞﾚｰﾝ施工機	式、　t級	日	1	標準運転時間
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型、　kVA	〃	1	
ホイールローダ	1.3～1.4m³	〃	1	標準運転時間
施工管理計		〃	1	
世話役		人	1	
特殊作業員		〃	1	
普通作業員		〃	2	
雑材料		%	2	削孔部保護設備を含む

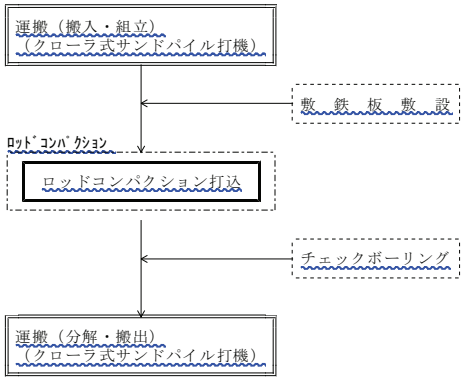
コメント

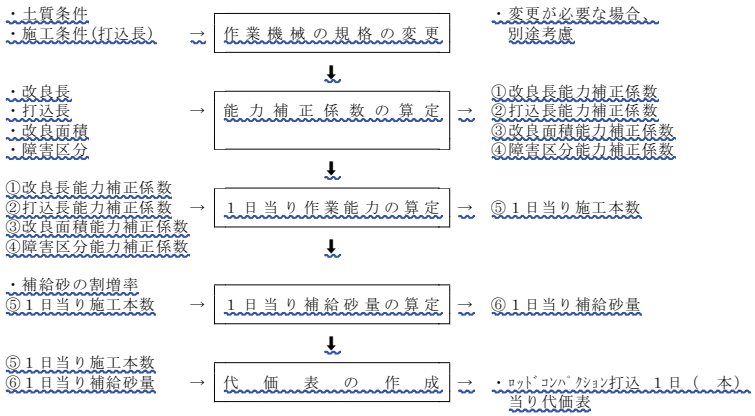
規格の見直し

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 参考資料－４ ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ P3-11-(19)	**参考資料－４　ロッドコンパクション** **１．総則** **１－１　適用範囲** 本項は、陸上で行う港湾・海岸構造物のロッドコンパクション(振動棒締固め工法)による液状化対策工事の施工に適用する。なお、吸水型振動棒締固め工法を除く。 **１－２　積算フロー**  **１－３　標準的な積算手順** **［ロッドコンパクション］**  注）改良速度等を定めて施工する場合は、**「本節 付属資料 ロッドコンパクションの能力算定」**を適用する。 **１－４　数量計算等** **１－４－１　集計数位** （単位：本） （数位：１位止めを原則とする。） （摘要：四捨五入） **１－４－２　材料割増率** （材料：補給砂） （割増率（%）：30） 注）上記により難い場合は、別途考慮する。		クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

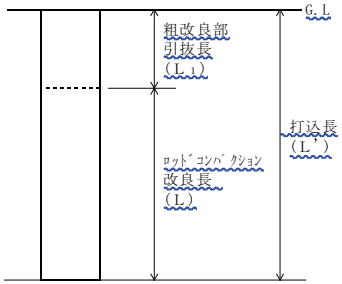
掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 参考資料－４ ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ P3-11-(20)	**２．ロッドコンパクション** ロッドコンパクションに含まれる代価表は、下表のとおりである。 **２－１　施工フロー** 注）本項の歩掛は、［　　］の部分である。 **２－２　代価表作成手順**		クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

種別(ﾚﾍﾞﾙ3)	細別(ﾚﾍﾞﾙ4)	積算要素(レベル6)	
締　固　工	ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ	ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ打込	ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ打込　１日（　本）当り





令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 参考資料－４ ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ P3-11-(20)	**２－３　作業機械構成** 区　分 / 規　格 打込長20ｍ以下 クローラ式サンドパイル打機 / バイブロ式 105kW リーダ長　30m 40ｔ吊 発　動　発　電　機 / 350kVA ホ　イ　ー　ル　ロ　ー　ダ / 0.8m³ 注）打込長が20mを超える場合等、本表中の規格により難い場合は別途考慮できる。		クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除
11節 陸上地盤改良工 参考資料－４ ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ P3-11-(21)	**２－４　施工歩掛** １）作業能力 (1) 能力算定式 $Q = \frac{L_1 \times (1.00 + E_1 + E_2 + E_3 + E_4) \times T}{L}$　（小数２位四捨五入） Q　：１日当り施工本数（本／日） L_1：１時間当り標準改良延長（40.0m／hr） E_1：改良長能力係数 E_2：打込長比能力係数 E_3：改良面積能力係数 E_4：障害区分能力係数 T　：クローラ式サンドパイル打機の標準運転時間 L　：１本当りロッドコンパクション改良長（m／本） (2) ロッドコンパクションの改良長  		クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

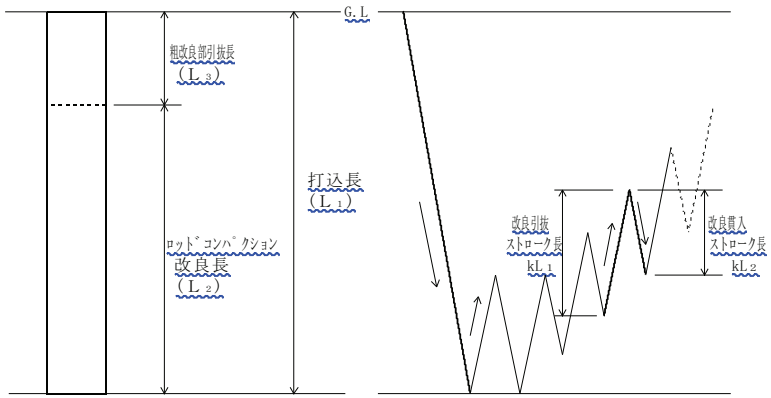
<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－４
ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
P3-11-(21)</td><td>(3) 能力係数等
<table>
<tr><th colspan="2">係　数　区　分</th><th>補　正　係　数</th><th>摘　　要</th></tr>
<tr><td rowspan="3">E１</td><td rowspan="3">ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
改良長（L）</td><td>5m未満</td><td>-0.10</td><td rowspan="3">小数３位四捨五入</td></tr>
<tr><td>5～10m　〃</td><td>-0.02×（10-L）</td></tr>
<tr><td>10～20m以下</td><td>0.00</td></tr>
<tr><td>E２</td><td>打込長比 $\left(\frac{L}{L'}\right)$</td><td></td><td>-0.50×（1.00-L／L’）</td><td>小数３位四捨五入</td></tr>
<tr><td>E３</td><td>改良面積（A）</td><td>A≦3,000m²</td><td>$0.055\times\frac{A}{1,000}$</td><td>小数３位四捨五入
改良面積が3,000m²以上の場合はA＝3,000m²とする。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">E４</td><td rowspan="2">障　害　区　分</td><td>障　害　な　し</td><td>0.00</td><td rowspan="2">障害区分の補足表参照</td></tr>
<tr><td>障　害　あ　り</td><td>-0.05</td></tr>
</table>
障害区分の補足表
<table>
<tr><th colspan="2">係　数　区　分</th><th>障害区分の適用明細</th></tr>
<tr><td rowspan="2">E４</td><td rowspan="2">障　害　区　分</td><td>障　害　な　し</td><td>構造物等による障害のため、作業が中断したり、機械の行動に制約を受けることがない。また、現場の広さにより機械の移動に支障を来すことがない。</td></tr>
<tr><td>障　害　あ　り</td><td>構造物等による障害のため、作業が中断したり、機械の行動に制約を受ける。また、現場の広さにより機械の移動に支障を来す。</td></tr>
</table></td><td></td><td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－４
ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
P3-11-(22)</td><td>２）使用材料
(1) ロッドコンパクション用補給砂
補給砂については、改良周辺部の既存砂等を流用することを標準とする。ただし、既存砂等が流用できない場合は、購入材料を使用できる。
１日当り扱い砂量は、次式により算出する。ただし、試験施工等を実施しこれにより難い場合は、別途定めることができる。
$V=(0.28m^3/m\times L\pm0.10m^3/m\times L_1)\times(1+W_1)\times Q$（小数３位四捨五入）
V　：１日当り扱い砂量（m³／日）
L　：改良長（m）
L_1：粗改良部引抜長（m）
W_1：割増率（30%）
Q　：１日当り施工本数（本／日）</td><td></td><td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－４
ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
P3-11-(22)</td><td>３）代価表
(1) ロッドコンパクション打込　１日（　　本）当り
<table><tr><th>名　　称</th><th>形状寸法</th><th>単　位</th><th>数　量</th><th>摘　　要</th></tr><tr><td>補　給　砂</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>割増しを含む</td></tr><tr><td>クローラ式サンドパイル打機</td><td>105kW,30m,40t吊</td><td>日</td><td>1</td><td>標準運転時間</td></tr><tr><td>発　動　発　電　機</td><td>350kVA</td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>ホ　イ　ー　ル　ロ　ー　ダ</td><td>0.8 m³</td><td>〃</td><td>1</td><td>標準運転時間</td></tr><tr><td>施　工　管　理　計</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>世　　話　　役</td><td></td><td>人</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>特　殊　作　業　員</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>普　通　作　業　員</td><td></td><td>〃</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>雑　　材　　料</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>注）1.地盤が軟弱で足場が悪く、機械の移動のために敷板等を必要とするときは、別途計上する。
2.補給砂は、購入材を使用する場合に計上する。</td><td></td><td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－４
ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
P3-11-(23)</td><td>付属資料　ロッドコンパクションの能力算定

１．適用範囲
本項は、陸上で行う港湾・海岸構造物のロッドコンパクション（振動棒締固め工法）による液状化対策工事において、改良速度等を定めて施工する場合の能力算定に適用する。なお、吸水型振動棒締固め工法については適用範囲外とする。

２．作業能力
１）能力算定式
$Q = \dfrac{60 \times T \times (e_1 + E_1 + E_2)}{Cm}$　（小数２位四捨五入）
Q　：１日当り施工本数（本／日）
T　：クローラ式サンドパイル打機の標準運転時間
e_1：基準作業能力係数　(0.6)
E_1：改良面積能力係数
E_2：障害区分能力係数
Cm：サイクルタイム（min／本）
$Cm = t + \dfrac{L_1}{V_1} + \dfrac{L_2}{V_2} + \dfrac{L_3}{V_3}$
t　：貫入・引抜設備の移動時間　(2min)
L_1：打込長（m）
L_2：改良長（m）
L_3：箱改良部引抜長（m）
V_1：打込速度（6.5m／min）
V_2：改良速度（m／min）
V_3：箱改良部引抜速度（7.0m／min）
$V_2 = \dfrac{(kL_1 - kL_2)}{\left(\dfrac{kL_1}{kv_1} + \dfrac{kL_2}{kv_2}\right)}$
kL_1：改良引抜ストローク長（m）
kL_2：改良貫入ストローク長（m）
kv_1：改良引抜速度（m／min）
kv_2：改良貫入速度（m／min）</td><td></td><td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td></tr>
</table>

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－４
ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
P3-11-(23)</td><td>２）ロッドコンパクションの改良長および改良ストローク長

</td><td></td><td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－４
ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
P3-11-(24)</td><td>３）能力係数等
<table>
<tr><th colspan="3">係　数　区　分</th><th>補　正　係　数</th><th>摘　　要</th></tr>
<tr><td>E₁</td><td>改良面積（A）</td><td>A≦3,000m²</td><td>$0.055\times\frac{A}{1,000}$</td><td>小数３位四捨五入
改良面積が3,000m²以上の場合はA＝3,000m²とする。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">E₂</td><td rowspan="2">障　害　区　分</td><td>障　害　な　し</td><td>0.00</td><td rowspan="2">障害区分の補足表参照</td></tr>
<tr><td>障　害　あ　り</td><td>-0.05</td></tr>
</table>
障害区分の補足表
<table>
<tr><th colspan="3">係　数　区　分</th><th>障害区分の適用明細</th></tr>
<tr><td rowspan="2">E₂</td><td rowspan="2">障　害　区　分</td><td>障　害　な　し</td><td>構造物等による障害のため、作業が中断したり、機械の行動に制約を受けることがない。また、現場の広さにより機械の移動に支障を来すことがない。</td></tr>
<tr><td>障　害　あ　り</td><td>構造物等による障害のため、作業が中断したり、機械の行動に制約を受ける。また、現場の広さにより機械の移動に支障を来す。</td></tr>
</table></td><td></td><td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td></tr>
<tr><td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－５
事前混合処理
P3-11-(25)</td><td>参考資料－５　事前混合処理</td><td>参考資料－４　事前混合処理</td><td>項番号の修正</td></tr>
</table>

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 参考資料－５ 事前混合処理 P3-11-(26)	**２－４　事前混合処理設備の機械構成** １）標準的な機械構成	**２－４　事前混合処理設備の機械構成** １）標準的な機械構成	規格の見直し
11節 陸上地盤改良工 補足資料－１ 陸上地盤改良工 P3-11-(33)	**補足資料－１　陸上地盤改良工** **１．陸上地盤改良工における市場単価の取扱い** 陸上地盤改良工における市場単価は、土木工事市場単価における軟弱地盤処理工の市場単価を用いる。		クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

現行（令和７年度）

区分		規格 B500型	数量	規格 B900型	数量
混合設備	引出コンベヤ	B500㎜×L 7.0m　5.5kw	2	B1,200㎜×L 11.0m 22kw	1
	３段トリッパコンベヤ			B1,050㎜×L 15.4m 30kw	1
	中継コンベヤ①	B500㎜×L 7.0m　5.5kw	2		
	中継コンベヤ②注*1	B500㎜×L 7.0m　5.5kw	(1)	B900㎜×L 19.5m 22kw	(1)
	放出コンベヤ	B500㎜×L 7.0m　5.5kw	1	B900㎜×L 21.4m 37kw	1
材料貯蔵設備	土砂ホッパ	10m³　土砂ﾌｨｰﾀﾞ付	2	20m³　土砂ﾌｨｰﾀﾞ付	2
	セメントサイロ	内容量 50t	1	内容量 50t	2
	セメントサービスタンク	3t　ｾﾒﾝﾄﾌｨｰﾀﾞ付	1	内容量 5t	1
分離防止設備	分離防止剤溶解機	20kg/hr	1	20kg/hr	4
	分離防止剤溶解ミキサ	20m³ 3.7kw　角形水槽	1	20m³ 3.7kw	2
	分離防止剤貯蔵槽	20～24m³ 角形水槽	2	20～24m³ 角形水槽	4
	海水槽	20～24m³ 角形水槽	1	20～24m³ 角形水槽	1
	水中撹拌機	0.75kw	8	0.75kw	16
	分離防止剤液ポンプ	ﾓﾉﾎﾟﾝﾌﾟ 15kw	1	ﾓﾉﾎﾟﾝﾌﾟ 30kw	1
	電磁流量計	径50mm	1	径100mm	1
	水汲上げポンプ	3ｲﾝﾁ 3.7kw	1	4ｲﾝﾁ 3.7kw	1
	給水ポンプ	4ｲﾝﾁ 3.7kw	1	2ｲﾝﾁ 1.5kw	2
	給水ポンプ	2ｲﾝﾁ 1.5kw	1	4ｲﾝﾁ 3.7kw	2
エアー設備	空気圧縮機	1.4m³/min 12kw	1	2.5m³/min 18kw	1
	レシーバタンク			7kg/cm² 1.5m³ ｴｱｰﾄﾞﾗｲﾔ	1
操作室等設備	運転操作室	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
	試験室	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
	運転員休憩室	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
	倉庫	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
その他	発電機	200KVA	1	450KVA	1
	管理装置		1		1

改定（令和８年度）

区分		規格 B500型	数量	規格 B900型	数量
混合設備	引出コンベヤ	B500㎜×L 7.0m　5.5kw	2	B1,200㎜×L 11.0m 22kw	1
	３段トリッパコンベヤ			B1,050㎜×L 15.4m 30kw	1
	中継コンベヤ①	B500㎜×L 7.0m　5.5kw	2		
	中継コンベヤ②注*1	B500㎜×L 7.0m　5.5kw	(1)	B900㎜×L 19.5m 22kw	(1)
	放出コンベヤ	B500㎜×L 7.0m　5.5kw	1	B900㎜×L 21.4m 37kw	1
材料貯蔵設備	土砂ホッパ	10m³　土砂ﾌｨｰﾀﾞ付	2	20m³　土砂ﾌｨｰﾀﾞ付	2
	セメントサイロ	内容量 50t	1	内容量 50t	2
	セメントサービスタンク	3t　ｾﾒﾝﾄﾌｨｰﾀﾞ付	1	内容量 5t	1
分離防止設備	分離防止剤溶解機	20kg/hr	1	20kg/hr	4
	分離防止剤溶解ミキサ	20m³ 3.7kw　角形水槽	1	20m³ 3.7kw	2
	分離防止剤貯蔵槽	20～24m³ 角形水槽	2	20～24m³ 角形水槽	4
	海水槽	20～24m³ 角形水槽	1	20～24m³ 角形水槽	1
	水中撹拌機	0.75kw	8	0.75kw	16
	分離防止剤液ポンプ	ﾓﾉﾎﾟﾝﾌﾟ 15kw	1	ﾓﾉﾎﾟﾝﾌﾟ 30kw	1
	電磁流量計	径50mm	1	径100mm	1
	水汲上げポンプ	3ｲﾝﾁ 3.7kw	1	4ｲﾝﾁ 3.7kw	1
	給水ポンプ	4ｲﾝﾁ 3.7kw	1	2ｲﾝﾁ 1.5kw	2
	給水ポンプ	2ｲﾝﾁ 1.5kw	1	4ｲﾝﾁ 3.7kw	2
エアー設備	空気圧縮機	2.0m³/min 15kw	1	2.5m³/min 18kw	1
	レシーバタンク			7kg/cm² 1.5m³ ｴｱｰﾄﾞﾗｲﾔ	1
操作室等設備	運転操作室	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
	試験室	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
	運転員休憩室	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
	倉庫	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
その他	発電機	200KVA	1	450KVA	1
	管理装置		1		1

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr><td>13節　舗装工
P3-13-10</td><td>
(1) 鋼製型枠設置撤去　100m当り
<table>
<tr><th>名　　称</th><th>形状寸法</th><th>単位</th><th>数　　量</th><th>摘　　要</th></tr>
<tr><td>舗装用ｽﾁｰﾙﾌｫｰﾑ</td><td>軌条付き　　cm</td><td>m</td><td>100</td><td>損料</td></tr>
<tr><td>クレーン付トラック</td><td>4t積 2t吊</td><td>日</td><td>0.5</td><td>標準運転時間</td></tr>
<tr><td>普　通　作　業　員</td><td></td><td>人</td><td>4.5</td><td></td></tr>
<tr><td>雑　　材　　料</td><td></td><td>%</td><td>2.0</td><td>ﾋﾟﾝﾎﾞｰﾙを含む</td></tr>
</table>
注）1.舗装用スチールフォーム損料＝１基・１ｍ当り供用日損料×供用日数
2.普通作業員の作業内容は、型枠据付・ピン付・小運搬・取付整備等である。

(2) 軌条設置撤去（コンクリート上）　100m当り
<table>
<tr><th>名　　称</th><th>形状寸法</th><th>単位</th><th>数　　量</th><th>摘　　要</th></tr>
<tr><td>軌　　条</td><td>15kg／m</td><td>m</td><td>100</td><td>損料</td></tr>
<tr><td>普　通　作　業　員</td><td></td><td>人</td><td>3.0</td><td></td></tr>
<tr><td>クレーン付トラック</td><td>4t積 2t吊</td><td>日</td><td>0.5</td><td>標準運転時間</td></tr>
<tr><td>雑　　材　　料</td><td></td><td>%</td><td>5.0</td><td>労務費の%</td></tr>
</table>
注）軌条損料＝供用日損料（１ｍ当り）×供用日数
</td><td>
(1) 鋼製型枠設置撤去　100m当り
<table>
<tr><th>名　　称</th><th>形状寸法</th><th>単位</th><th>数　　量</th><th>摘　　要</th></tr>
<tr><td>舗装用ｽﾁｰﾙﾌｫｰﾑ</td><td>軌条付き　　cm</td><td>m</td><td>100</td><td>損料</td></tr>
<tr><td>クレーン付トラック</td><td>4t積級 2t吊</td><td>日</td><td>0.5</td><td>標準運転時間</td></tr>
<tr><td>普　通　作　業　員</td><td></td><td>人</td><td>4.5</td><td></td></tr>
<tr><td>雑　　材　　料</td><td></td><td>%</td><td>2.0</td><td>ﾋﾟﾝﾎﾞｰﾙを含む</td></tr>
</table>
注）1.舗装用スチールフォーム損料＝１基・１ｍ当り供用日損料×供用日数
2.普通作業員の作業内容は、型枠据付・ピン付・小運搬・取付整備等である。

(2) 軌条設置撤去（コンクリート上）　100m当り
<table>
<tr><th>名　　称</th><th>形状寸法</th><th>単位</th><th>数　　量</th><th>摘　　要</th></tr>
<tr><td>軌　　条</td><td>15kg／m</td><td>m</td><td>100</td><td>損料</td></tr>
<tr><td>普　通　作　業　員</td><td></td><td>人</td><td>3.0</td><td></td></tr>
<tr><td>クレーン付トラック</td><td>4t積級 2t吊</td><td>日</td><td>0.5</td><td>標準運転時間</td></tr>
<tr><td>雑　　材　　料</td><td></td><td>%</td><td>5.0</td><td>労務費の%</td></tr>
</table>
注）軌条損料＝供用日損料（１ｍ当り）×供用日数
</td><td>機械器具等損料改定に伴う変更</td></tr>
<tr><td>13節　舗装工
P3-13-13</td><td>
<table>
<tr><th>コンクリートスプレッダ種類</th><th>ラフテレーンクレーン規格</th><th>摘　　要</th></tr>
<tr><td>ブレード式</td><td>（油）25ｔ吊</td><td></td></tr>
<tr><td>ボックス式</td><td>（油）45ｔ吊</td><td></td></tr>
</table>
注）現場条件により大型の規格を使用できるものとする。
</td><td>
<table>
<tr><th>コンクリートスプレッダ種類</th><th>ラフテレーンクレーン規格</th><th>摘　　要</th></tr>
<tr><td>ブレード式</td><td>（油）25ｔ吊</td><td></td></tr>
<tr><td>ボックス式</td><td>（油）50ｔ吊</td><td></td></tr>
</table>
注）現場条件により大型の規格を使用できるものとする。
</td><td>規格の見直し</td></tr>
<tr><td>13節　舗装工
P3-13-14</td><td>
(3) 簡易機械舗設　１日（150m²）当り
<table>
<tr><th rowspan="2">名　　称</th><th rowspan="2">形　状　寸　法</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="2">数　量
舗　装　厚</th><th rowspan="2">摘　　要</th></tr>
<tr><th>30cm
以下</th><th>30cmを
超える</th></tr>
<tr><td>ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ</td><td></td><td>m³</td><td colspan="2"></td><td>割増しを含む</td></tr>
<tr><td>鉄　　網</td><td></td><td>m²</td><td colspan="2"></td><td>〃</td></tr>
<tr><td>ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤</td><td>PK-3</td><td>ℓ</td><td colspan="2"></td><td>〃</td></tr>
<tr><td>ｺﾝｸﾘｰﾄ簡易仕上機</td><td>3.5～5.0m</td><td>日</td><td colspan="2">1</td><td>就業 8H</td></tr>
<tr><td>世　話　役</td><td></td><td>人</td><td colspan="2">1</td><td></td></tr>
<tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>〃</td><td>5</td><td>9</td><td></td></tr>
<tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td>13</td><td>23</td><td></td></tr>
<tr><td>雑　　材　　料</td><td></td><td>%</td><td>18</td><td>13</td><td>機械・労務費の%</td></tr>
</table>
注）1.ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤＝1m²当り散布量（1.02ℓ／m²）×１日当り舗設面積（150m²／日）
なお、1m²当り散布量には割増しを含んでいる。
2.雑材料は、初期・後期養生材および舗装用ﾊﾞｲﾌﾞﾚｰﾀ、ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤散布の費用を含む。
</td><td>
(3) 簡易機械舗設　１日（150m²）当り
<table>
<tr><th rowspan="2">名　　称</th><th rowspan="2">形　状　寸　法</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="2">数　量
舗　装　厚</th><th rowspan="2">摘　　要</th></tr>
<tr><th>30cm
以下</th><th>30cmを
超える</th></tr>
<tr><td>ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ</td><td></td><td>m³</td><td colspan="2"></td><td>割増しを含む</td></tr>
<tr><td>鉄　　網</td><td></td><td>m²</td><td colspan="2"></td><td>〃</td></tr>
<tr><td>ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤</td><td>PK-3</td><td>ℓ</td><td colspan="2"></td><td>〃</td></tr>
<tr><td>ｺﾝｸﾘｰﾄ簡易仕上機</td><td>3.5～9.0m</td><td>日</td><td colspan="2">1</td><td>就業 8H</td></tr>
<tr><td>世　話　役</td><td></td><td>人</td><td colspan="2">1</td><td></td></tr>
<tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>〃</td><td>5</td><td>9</td><td></td></tr>
<tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td>13</td><td>23</td><td></td></tr>
<tr><td>雑　　材　　料</td><td></td><td>%</td><td>18</td><td>13</td><td>機械・労務費の%</td></tr>
</table>
注）1.ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤＝1m²当り散布量（1.02ℓ／m²）×１日当り舗設面積（150m²／日）
なお、1m²当り散布量には割増しを含んでいる。
2.雑材料は、初期・後期養生材および舗装用ﾊﾞｲﾌﾞﾚｰﾀ、ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤散布の費用を含む。
</td><td>規格の見直し</td></tr>
</table>

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr><td>13節　舗装工
P3-13-17</td><td>
4）代価表
(1) 膨張目地　100m当り
<table>
<tr><th rowspan="3">名　　称</th><th rowspan="3">形状寸法</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="4">数　　量</th><th rowspan="3">摘　　要</th></tr>
<tr><th colspan="2">ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り</th><th colspan="2">ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し</th></tr>
<tr><th>ﾁｪｱｰ材片側</th><th>ﾁｪｱｰ材両側</th><th>ﾁｪｱｰ材片側</th><th>ﾁｪｱｰ材両側</th></tr>
<tr><td>目　地　板</td><td>幅厚</td><td>m²</td><td colspan="4"></td><td>小数１位四捨五入</td></tr>
<tr><td>目地充填材</td><td></td><td>kg</td><td colspan="4"></td><td>〃</td></tr>
<tr><td>ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ</td><td></td><td>〃</td><td colspan="4"></td><td>〃</td></tr>
<tr><td>スリップバー</td><td>径長</td><td>本</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>キ　ャ　ッ　プ</td><td></td><td>個</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ</td><td>4t積2t吊</td><td>日</td><td colspan="4">0.3</td><td>標準運転時間</td></tr>
<tr><td>ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ</td><td></td><td>〃</td><td colspan="2">0.6</td><td colspan="2">－</td><td>就業8H</td></tr>
<tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>5.5</td><td>7.6</td><td>9.5</td><td>11.6</td><td></td></tr>
<tr><td>雑　材　料</td><td></td><td>%</td><td>12</td><td>8</td><td>4</td><td>3</td><td>労務費の%</td></tr>
</table>
注）雑材料には目地清掃費等の費用を含む。
</td><td>
4）代価表
(1) 膨張目地　100m当り
<table>
<tr><th rowspan="3">名　　称</th><th rowspan="3">形状寸法</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="4">数　　量</th><th rowspan="3">摘　　要</th></tr>
<tr><th colspan="2">ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り</th><th colspan="2">ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し</th></tr>
<tr><th>ﾁｪｱｰ材片側</th><th>ﾁｪｱｰ材両側</th><th>ﾁｪｱｰ材片側</th><th>ﾁｪｱｰ材両側</th></tr>
<tr><td>目　地　板</td><td>幅厚</td><td>m²</td><td colspan="4"></td><td>小数１位四捨五入</td></tr>
<tr><td>目地充填材</td><td></td><td>kg</td><td colspan="4"></td><td>〃</td></tr>
<tr><td>ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ</td><td></td><td>〃</td><td colspan="4"></td><td>〃</td></tr>
<tr><td>スリップバー</td><td>径長</td><td>本</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>キ　ャ　ッ　プ</td><td></td><td>個</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ</td><td>4t積級 2t吊</td><td>日</td><td colspan="4">0.3</td><td>標準運転時間</td></tr>
<tr><td>ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ</td><td></td><td>〃</td><td colspan="2">0.6</td><td colspan="2">－</td><td>就業8H</td></tr>
<tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>5.5</td><td>7.6</td><td>9.5</td><td>11.6</td><td></td></tr>
<tr><td>雑　材　料</td><td></td><td>%</td><td>12</td><td>8</td><td>4</td><td>3</td><td>労務費の%</td></tr>
</table>
注）雑材料には目地清掃費等の費用を含む。
</td><td>機械器具等損料改定に伴う変更</td></tr>
<tr><td>13節　舗装工
P3-13-18</td><td>
(2) 挿入工法収縮目地　100m当り
<table>
<tr><th rowspan="3">名　　称</th><th rowspan="3">形状寸法</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="4">数　　量</th><th rowspan="3">摘　　要</th></tr>
<tr><th colspan="2">ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り</th><th colspan="2">ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し</th></tr>
<tr><th>ﾁｪｱｰ材片側</th><th>ﾁｪｱｰ材両側</th><th>ﾁｪｱｰ材片側</th><th>ﾁｪｱｰ材両側</th></tr>
<tr><td>目　地　板</td><td>幅厚</td><td>m²</td><td colspan="4"></td><td>小数１位四捨五入</td></tr>
<tr><td>目地充填材</td><td></td><td>kg</td><td colspan="4"></td><td>〃</td></tr>
<tr><td>ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ</td><td></td><td>〃</td><td colspan="4"></td><td>〃</td></tr>
<tr><td>スリップバー</td><td>径長</td><td>本</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ</td><td>4t積2t吊</td><td>日</td><td colspan="4">0.3</td><td>標準運転時間</td></tr>
<tr><td>ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ</td><td>ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径</td><td>〃</td><td colspan="4"></td><td>就業8H</td></tr>
<tr><td>ｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ損耗</td><td></td><td>枚</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ</td><td></td><td>日</td><td colspan="2">0.4</td><td colspan="2">－</td><td>就業8H</td></tr>
<tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>7.2</td><td>9.3</td><td>10.2</td><td>12.3</td><td></td></tr>
<tr><td>雑　材　料</td><td></td><td>%</td><td>5</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>労務費の%</td></tr>
</table>
注）雑材料には目地清掃費等の費用を含む。

(3) カッタ工法収縮目地　100m当り
<table>
<tr><th rowspan="3">名　　称</th><th rowspan="3">形状寸法</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="4">数　　量</th><th rowspan="3">摘　　要</th></tr>
<tr><th colspan="2">ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り</th><th colspan="2">ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し</th></tr>
<tr><th>ﾁｪｱｰ材片側</th><th>ﾁｪｱｰ材両側</th><th>ﾁｪｱｰ材片側</th><th>ﾁｪｱｰ材両側</th></tr>
<tr><td>目地充填材</td><td></td><td>kg</td><td colspan="4"></td><td>小数１位四捨五入</td></tr>
<tr><td>バックアップ材</td><td>径</td><td>m</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ</td><td></td><td>kg</td><td colspan="4"></td><td>小数１位四捨五入</td></tr>
<tr><td>スリップバー</td><td>径長</td><td>本</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ</td><td>4t積2t吊</td><td>日</td><td colspan="4">0.3</td><td>標準運転時間</td></tr>
<tr><td>ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ</td><td>ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径</td><td>〃</td><td colspan="4"></td><td>就業8H</td></tr>
<tr><td>ｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ損耗</td><td></td><td>枚</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ</td><td></td><td>日</td><td colspan="2">0.4</td><td colspan="2">－</td><td>就業8H</td></tr>
<tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>3.4</td><td>5.5</td><td>6.4</td><td>8.5</td><td></td></tr>
<tr><td>雑　材　料</td><td></td><td>%</td><td>10</td><td>6</td><td>3</td><td>2</td><td>労務費の%</td></tr>
</table>
注）1.バックアップ材が必要な場合は、100m分の材料費および取付用の普通作業員0.7人／100mを追加する。
2.雑材料には目地清掃費等の費用を含む。
</td><td>
(2) 挿入工法収縮目地　100m当り
<table>
<tr><th rowspan="3">名　　称</th><th rowspan="3">形状寸法</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="4">数　　量</th><th rowspan="3">摘　　要</th></tr>
<tr><th colspan="2">ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り</th><th colspan="2">ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し</th></tr>
<tr><th>ﾁｪｱｰ材片側</th><th>ﾁｪｱｰ材両側</th><th>ﾁｪｱｰ材片側</th><th>ﾁｪｱｰ材両側</th></tr>
<tr><td>目　地　板</td><td>幅厚</td><td>m²</td><td colspan="4"></td><td>小数１位四捨五入</td></tr>
<tr><td>目地充填材</td><td></td><td>kg</td><td colspan="4"></td><td>〃</td></tr>
<tr><td>ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ</td><td></td><td>〃</td><td colspan="4"></td><td>〃</td></tr>
<tr><td>スリップバー</td><td>径長</td><td>本</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ</td><td>4t積級 2t吊</td><td>日</td><td colspan="4">0.3</td><td>標準運転時間</td></tr>
<tr><td>ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ</td><td>ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径</td><td>〃</td><td colspan="4"></td><td>就業8H</td></tr>
<tr><td>ｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ損耗</td><td></td><td>枚</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ</td><td></td><td>日</td><td colspan="2">0.4</td><td colspan="2">－</td><td>就業8H</td></tr>
<tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>7.2</td><td>9.3</td><td>10.2</td><td>12.3</td><td></td></tr>
<tr><td>雑　材　料</td><td></td><td>%</td><td>5</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>労務費の%</td></tr>
</table>
注）雑材料には目地清掃費等の費用を含む。

(3) カッタ工法収縮目地　100m当り
<table>
<tr><th rowspan="3">名　　称</th><th rowspan="3">形状寸法</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="4">数　　量</th><th rowspan="3">摘　　要</th></tr>
<tr><th colspan="2">ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り</th><th colspan="2">ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し</th></tr>
<tr><th>ﾁｪｱｰ材片側</th><th>ﾁｪｱｰ材両側</th><th>ﾁｪｱｰ材片側</th><th>ﾁｪｱｰ材両側</th></tr>
<tr><td>目地充填材</td><td></td><td>kg</td><td colspan="4"></td><td>小数１位四捨五入</td></tr>
<tr><td>バックアップ材</td><td>径</td><td>m</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ</td><td></td><td>kg</td><td colspan="4"></td><td>小数１位四捨五入</td></tr>
<tr><td>スリップバー</td><td>径長</td><td>本</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ</td><td>4t積級 2t吊</td><td>日</td><td colspan="4">0.3</td><td>標準運転時間</td></tr>
<tr><td>ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ</td><td>ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径</td><td>〃</td><td colspan="4"></td><td>就業8H</td></tr>
<tr><td>ｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ損耗</td><td></td><td>枚</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ</td><td></td><td>日</td><td colspan="2">0.4</td><td colspan="2">－</td><td>就業8H</td></tr>
<tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>3.4</td><td>5.5</td><td>6.4</td><td>8.5</td><td></td></tr>
<tr><td>雑　材　料</td><td></td><td>%</td><td>10</td><td>6</td><td>3</td><td>2</td><td>労務費の%</td></tr>
</table>
注）1.バックアップ材が必要な場合は、100m分の材料費および取付用の普通作業員0.7人／100mを追加する。
2.雑材料には目地清掃費等の費用を含む。
</td><td>機械器具等損料改定に伴う変更</td></tr>
</table>

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：13節　舗装工　P3-13-18

現行（令和７年度）

(4) 縦施工目地　100m当り

名称	形状寸法	単位	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材片側	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材両側	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材片側	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材両側	摘要
目地充填材		kg					小数１位四捨五
バックアップ材	径	m					
ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ		kg					小数１位四捨五
タイバー	径長	本					
ｸﾚｰﾝ付トラック	4t積2t吊	日	0.3				標準運転時間
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ	ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径	〃					就業8H
ｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ損耗		枚					
ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ		日	0.4		－		就業8H
普通作業員		人	3.4	5.5	6.4	8.5	
雑材料		%	11	7	4	3	労務費の%

注）1.バックアップ材が必要な場合は、100m分の材料費および取付用の普通作業員0.7人／100mを追加する。
2.雑材料には目地清掃費等の費用を含む。

改定（令和８年度）

(4) 縦施工目地　100m当り

名称	形状寸法	単位	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材片側	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材両側	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材片側	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材両側	摘要
目地充填材		kg					小数１位四捨五
バックアップ材	径	m					
ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ		kg					小数１位四捨五
タイバー	径長	本					
ｸﾚｰﾝ付トラック	4t積級 2t吊	日	0.3				標準運転時間
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ	ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径	〃					就業8H
ｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ損耗		枚					
ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ		日	0.4		－		就業8H
普通作業員		人	3.4	5.5	6.4	8.5	
雑材料		%	11	7	4	3	労務費の%

注）1.バックアップ材が必要な場合は、100m分の材料費および取付用の普通作業員0.7人／100mを追加する。
2.雑材料には目地清掃費等の費用を含む。

コメント：機械器具等損料改定に伴う変更

掲載頁：13節　舗装工　P3-13-23

現行（令和７年度）

２）代価表

(1)プライムコート　1,000m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
アスファルト乳剤	PK-3	ℓ	1,020	割増しを含む
ディストリビュータ	ﾄﾗｯｸ架装式2,000～3,000L	日	0.06	就業8H
雑材料		%	2	材料費の%

注）上記散布量には、割増しを含んでいる。

(2)タックコート　1,000m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
アスファルト乳剤	PK-4	ℓ	310	割増しを含む
ディストリビュータ	ﾄﾗｯｸ架装式2,000～3,000L	日	0.03	就業8H
雑材料		%	2	材料費の%

注）上記散布量には、割増しを含んでいる。

改定（令和８年度）

２）代価表

(1)プライムコート　1,000m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
アスファルト乳剤	PK-3	ℓ	1,020	割増しを含む
ディストリビュータ	自走式(専用車)1,500～2,000L	日	0.06	就業8H
雑材料		%	2	材料費の%

注）上記散布量には、割増しを含んでいる。

(2)タックコート　1,000m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
アスファルト乳剤	PK-4	ℓ	310	割増しを含む
ディストリビュータ	自走式(専用車)1,500～2,000L	日	0.03	就業8H
雑材料		%	2	材料費の%

注）上記散布量には、割増しを含んでいる。

コメント：規格の見直し

掲載頁：13節　舗装工　補足資料－１　舗装工　P3-13-(6)

現行（令和７年度）

４．プライムコート及びタックコートのアスファルトスプレヤ歩掛

１）プライムコート　1,000m²当り

プライムコート　1,000m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
瀝青材	PK-3	L	1020	割増しを含む
アスファルトスプレヤ	車載式 25L/min 2.6kW	日	1	就業8H
トラック	2t積	〃	1	標準運転時間
トラック	2t積	〃		標準運転時間
雑材料		%	2	材料費の%

注）1.現場条件により、材料小運搬用トラック（２ｔ積）を追加計上することができる。
2.上記散布量は、割増し2%を含む。

改定（令和８年度）

４．プライムコート及びタックコートのアスファルトスプレヤ歩掛

１）プライムコート　1,000m²当り

プライムコート　1,000m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
瀝青材	PK-3	L	1020	割増しを含む
アスファルトスプレヤ	車載式 25L/min 2.6kW	日	1	就業8H
トラック	2t積級	〃	1	標準運転時間
トラック	2t積級	〃		標準運転時間
雑材料		%	2	材料費の%

注）1.現場条件により、材料小運搬用トラック（２ｔ積級）を追加計上することができる。
2.上記散布量は、割増し2%を含む

コメント：機械器具等損料改定に伴う変更

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：13節　舗装工　補足資料－１　舗装工　P3-13-(6)

現行（令和７年度）

２）タックコート代価表

タックコート　1,000m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
瀝青材	PK-4	L	310	割増しを含む
アスファルトスプレヤ	車載式 25L/min 2.6kW	日	0.3	就業8H
トラック	2t積	〃	0.3	標準運転時間
トラック	2t積	〃		標準運転時間
雑材料		%	2	材料費の%

注）1.現場条件により、材料小運搬用トラック（2ｔ積）を追加計上することができる。
2.上記散布量は、割増し2%を含む。

改定（令和８年度）

２）タックコート代価表

タックコート　1,000m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
瀝青材	PK-4	L	310	割増しを含む
アスファルトスプレヤ	車載式 25L/min 2.6kW	日	0.3	就業8H
トラック	2t積級	〃	0.3	標準運転時間
トラック	2t積級	〃		標準運転時間
雑材料		%	2	材料費の%

注）1.現場条件により、材料小運搬用トラック（2ｔ積級）を追加計上することができる。
2.上記散布量は、割増し2%を含む。

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

掲載頁：14節　維持補修工　P3-14-6

現行（令和７年度）

(3) 陽極取付　１日（　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			既設構造物等を基地として作業できる場合	既設構造物等を基地として作業できない場合	
ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金陽極	取付プレートを含む	個	18	14	
陽極取付	クレーン込み	〃	18	－	市場単価
潜水士船	D270PS型 3～5ｔ吊	日	－	1	就業8H
クレーン付台船	35～40ｔ吊	〃	－	0.4	運2H/就8H
引船	鋼D300PS型	〃	－	0.4	運2H/就8H
溶接機	D300A	〃	－	1	
世話役		人	－	1	
普通作業員		〃	－	1	
消耗品		%	－	2	労務費の%
雑材料			－		

改定（令和８年度）

(3) 陽極取付　１日（　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			既設構造物等を基地として作業できる場合	既設構造物等を基地として作業できない場合	
ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金陽極	取付プレートを含む	個	18	14	
陽極取付	クレーン込み	〃	18	－	市場単価
潜水士船	D320PS型 3～5ｔ吊	日	－	1	就業8H
クレーン付台船	35～40ｔ吊	〃	－	0.4	運2H/就8H
引船	鋼D300PS型	〃	－	0.4	運2H/就8H
溶接機	D300A	〃	－	1	
世話役		人	－	1	
普通作業員		〃	－	1	
消耗品		%	－	2	労務費の%
雑材料			－		

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：14節　維持補修工　参考資料－1　FRPモルタル被覆　P3-14-(2)

現行（令和７年度）

２）代価表
(1) 足場設置撤去　100m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
コンクリートアンカー	φ16mm, ℓ＝60mm	本	9	
鋼製足場	鋼製軽量足場板 B＝0.24m, ℓ＝4m	枚	14	
潜水世話役		人	0.5	
潜水士		〃	4.7	
潜水送気員		〃	2.4	
潜水連絡員		〃	2.4	
普通作業員		〃	0.6	
クレーン付トラック	4ｔ積2.9ｔ吊	日	2.4	標準運転時間
雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む

注）1.本歩掛は、桟橋式の鋼管杭の防食工に適用する。
2.現場条件等により足場構造に変更がある場合、別途積算する。

改定（令和８年度）

２）代価表
(1) 足場設置撤去　100m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
コンクリートアンカー	φ16mm, ℓ＝60mm	本	9	
鋼製足場	鋼製軽量足場板 B＝0.24m, ℓ＝4m	枚	14	
潜水世話役		人	0.5	
潜水士		〃	4.7	
潜水送気員		〃	2.4	
潜水連絡員		〃	2.4	
普通作業員		〃	0.6	
クレーン付トラック	4ｔ積級、2.9ｔ吊	日	2.4	標準運転時間
雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む

注）1.本歩掛は、桟橋式の鋼管杭の防食工に適用する。
2.現場条件等により足場構造に変更がある場合、別途積算する。

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

令和８年度　港湾請負工事積算基準　新旧対比表

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr><td>14節 維持補修工
参考資料－1
FRPモルタル被覆
P3-14-(2)</td><td>(2) 下地処理（かき落とし）　100m²当り
<table><tr><th>名　称</th><th>形 状 寸 法</th><th>単位</th><th>数　量</th><th>摘　要</th></tr><tr><td>か き 落 と し</td><td>クレーン抜き</td><td>㎡</td><td>100</td><td>市場単価</td></tr><tr><td>クレーン付トラック</td><td>4t積2.9t吊</td><td>日</td><td>3.6</td><td>標準運転時間</td></tr></table></td><td>(2) 下地処理（かき落とし）　100m²当り
<table><tr><th>名　称</th><th>形 状 寸 法</th><th>単位</th><th>数　量</th><th>摘　要</th></tr><tr><td>か き 落 と し</td><td>クレーン抜き</td><td>㎡</td><td>100</td><td>市場単価</td></tr><tr><td>クレーン付トラック</td><td>4t積級、2.9t吊</td><td>日</td><td>3.6</td><td>標準運転時間</td></tr></table></td><td>機械器具等損料改定に伴う変更</td></tr>
<tr><td>14節 維持補修工
参考資料－1
FRPモルタル被覆
P3-14-(3)</td><td>(3) 防食カバー取付（既設）　10本当り
<table><tr><th rowspan="2">名　称</th><th rowspan="2">形 状 寸 法</th><th rowspan="2">単位</th><th>数　量</th><th rowspan="2">摘　要</th></tr><tr><th>陸上（既設）</th></tr><tr><td>防 食 カ バ ー</td><td>φ＝　　，ℓ＝</td><td>本</td><td>10</td><td></td></tr><tr><td>溶 接 機</td><td>D300A</td><td>日</td><td>3.3</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 士</td><td></td><td>〃</td><td>9.5</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 送 気 員</td><td></td><td>〃</td><td>4.8</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 連 絡 員</td><td></td><td>〃</td><td>4.8</td><td></td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>3.5</td><td></td></tr><tr><td>クレーン付トラック</td><td>4ｔ積2.9ｔ吊</td><td>日</td><td>4.8</td><td>標準運転時間</td></tr><tr><td>雑 材 料</td><td></td><td>%</td><td>1.0</td><td>空気圧縮機を含む</td></tr></table>(4) モルタル注入（既設）　10m³当り
<table><tr><th rowspan="2">名　称</th><th rowspan="2">形 状 寸 法</th><th rowspan="2">単位</th><th>数　量</th><th rowspan="2">摘　要</th></tr><tr><th>陸上（既設）</th></tr><tr><td>ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄﾓﾙﾀﾙ</td><td></td><td>m³</td><td>13</td><td>割増しを含む</td></tr><tr><td>グラウトポンプ</td><td>37～100ℓ/min</td><td>日</td><td>4.0</td><td>就業8H</td></tr><tr><td>発 動 発 電 機</td><td>45kVA</td><td>〃</td><td>4.0</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.7</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 士</td><td></td><td>〃</td><td>6.7</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 送 気 員</td><td></td><td>〃</td><td>3.4</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 連 絡 員</td><td></td><td>〃</td><td>3.4</td><td></td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>1.7</td><td></td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>1.9</td><td></td></tr><tr><td>クレーン付トラック</td><td>4ｔ積2.9ｔ吊</td><td>日</td><td>3.4</td><td>標準運転時間</td></tr><tr><td>雑 材 料</td><td></td><td>%</td><td>1.0</td><td>空気圧縮機を含む</td></tr></table>注）レディーミクストモルタルは、雑材料の対象としない。</td><td>(3) 防食カバー取付（既設）　10本当り
<table><tr><th rowspan="2">名　称</th><th rowspan="2">形 状 寸 法</th><th rowspan="2">単位</th><th>数　量</th><th rowspan="2">摘　要</th></tr><tr><th>陸上（既設）</th></tr><tr><td>防 食 カ バ ー</td><td>φ＝　　，ℓ＝</td><td>本</td><td>10</td><td></td></tr><tr><td>溶 接 機</td><td>D300A</td><td>日</td><td>3.3</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 士</td><td></td><td>〃</td><td>9.5</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 送 気 員</td><td></td><td>〃</td><td>4.8</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 連 絡 員</td><td></td><td>〃</td><td>4.8</td><td></td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>3.5</td><td></td></tr><tr><td>クレーン付トラック</td><td>4ｔ積級、2.9ｔ吊</td><td>日</td><td>4.8</td><td>標準運転時間</td></tr><tr><td>雑 材 料</td><td></td><td>%</td><td>1.0</td><td>空気圧縮機を含む</td></tr></table>(4) モルタル注入（既設）　10m³当り
<table><tr><th rowspan="2">名　称</th><th rowspan="2">形 状 寸 法</th><th rowspan="2">単位</th><th>数　量</th><th rowspan="2">摘　要</th></tr><tr><th>陸上（既設）</th></tr><tr><td>ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄﾓﾙﾀﾙ</td><td></td><td>m³</td><td>13</td><td>割増しを含む</td></tr><tr><td>グラウトポンプ</td><td>37～100ℓ/min</td><td>日</td><td>4.0</td><td>就業8H</td></tr><tr><td>発 動 発 電 機</td><td>45kVA</td><td>〃</td><td>4.0</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.7</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 士</td><td></td><td>〃</td><td>6.7</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 送 気 員</td><td></td><td>〃</td><td>3.4</td><td></td></tr><tr><td>潜 水 連 絡 員</td><td></td><td>〃</td><td>3.4</td><td></td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>1.7</td><td></td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>1.9</td><td></td></tr><tr><td>クレーン付トラック</td><td>4ｔ積級、2.9ｔ吊</td><td>日</td><td>3.4</td><td>標準運転時間</td></tr><tr><td>雑 材 料</td><td></td><td>%</td><td>1.0</td><td>空気圧縮機を含む</td></tr></table>注）レディーミクストモルタルは、雑材料の対象としない。</td><td>機械器具等損料改定に伴う変更</td></tr>
<tr><td>14節 維持補修工
参考資料－2
ペトロラタム被覆
P3-14-(6)</td><td>2）代価表
(1) 足場設置撤去
①鋼管杭　足場設置撤去　100m²当り
<table><tr><th>名　称</th><th>形 状 寸 法</th><th>単位</th><th>数　量</th><th>摘　要</th></tr><tr><td>コンクリートアンカー</td><td>φ16mm，L＝60mm</td><td>本</td><td>9</td><td></td></tr><tr><td>鋼 製 足 場</td><td>鋼製軽量足場板
B＝0.24m,L＝4m</td><td>枚</td><td>14</td><td></td></tr><tr><td>足 場 設 置 撤 去</td><td>クレーン抜き</td><td>m²</td><td>100</td><td>市場単価</td></tr><tr><td>クレーン付トラック</td><td>4ｔ積2.9ｔ吊</td><td>日</td><td>2.4</td><td>標準運転時間</td></tr></table>注）1.本歩掛は、桟橋式の鋼管杭の防食工に適用する。
2.現場条件等により足場構造に変更がある場合、別途積算する。</td><td>2）代価表
(1) 足場設置撤去
①鋼管杭　足場設置撤去　100m²当り
<table><tr><th>名　称</th><th>形 状 寸 法</th><th>単位</th><th>数　量</th><th>摘　要</th></tr><tr><td>コンクリートアンカー</td><td>φ16mm，L＝60mm</td><td>本</td><td>9</td><td></td></tr><tr><td>鋼 製 足 場</td><td>鋼製軽量足場板
B＝0.24m,L＝4m</td><td>枚</td><td>14</td><td></td></tr><tr><td>足 場 設 置 撤 去</td><td>クレーン抜き</td><td>m²</td><td>100</td><td>市場単価</td></tr><tr><td>クレーン付トラック</td><td>4ｔ積級、2.9ｔ吊</td><td>日</td><td>2.4</td><td>標準運転時間</td></tr></table>注）1.本歩掛は、桟橋式の鋼管杭の防食工に適用する。
2.現場条件等により足場構造に変更がある場合、別途積算する。</td><td>機械器具等損料改定に伴う変更</td></tr>
</table>